

第 9 2 0 回

定例教育委員会会議録

日 時 令和 5 年 1 1 月 2 4 日（金） 1 0 : 3 0 ~

場 所 美都分庁舎 第一会議室

益田市教育委員会

第 9 2 0 回 教育委員会定例会

招集年月日 令和 5 年 1 1 月 2 4 日（金） 1 0 : 3 0 ～

招 集 場 所 美都分庁舎 第一会議室

議事日程

第 1 会議録の承認について

第 2 教育長報告

第 3 議題

議第 1 6 号 「益田市教育ビジョン」の計画期間延長について

第 4 その他

（1）その他

出席者

教育委員会

教 育 長
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員

高 市 和 則
梅 津 富美子
大 庭 隆 志
齋 藤 哲 瑯
原 田 笑

事務局職員

教 育 部 長
教 育 総 務 課 長
学 校 教 育 課 長
文 化 財 課 長
学 校 教 育 課 参 事
匹 見 分 室 長
美 都 分 室 長
教 育 総 務 課 長 補 佐
教 育 総 務 課 主 事

長 嶺 勝 良
志 田 原 涉
田 原 正 紀
石 田 公
杉 原 貴 宏
齋 藤 一 臣
田 中 一 史
齋 藤 勝 義
三 浦 菜々子

高市教育長 ただいまより第920回益田市教育委員会定例会を開催いたします。
それでは、議事に入らせていただきます。

第1 会議録の承認

高市教育長 会議録の承認につきましては、先ほどご承認いただきました。

第2 教育長報告

高市教育長 次に進みまして、第2の教育長報告でございます。前回の教育委員会からの活動状況です。

11月1日でございます。こちらは、市内の小・中学校の校長を集めまして研修会を行いました。主な内容といたしましては、教育委員会、市教委からの報告、連絡事項と並びにそろそろ人事の時期になるということで、県教育委員会のほうから人事ルール等について説明があったところでございます。

続きまして、2日でございます。小野中学校を学校訪問してまいりました。

次、11月3日でございます。令和5年度の市政功労者表彰式典がございまして、出席してきたところでございます。

続きまして、11月6日、桂平小学校、8日に吉田南小学校を訪問してきたところでございます。教育実習生が来ていた時期でして、吉田南小学校に行った8日につきましては、吉田南小学校を卒業した子が吉田南小学校で教育実習をしており、その最終日でした。担当していたクラスでは、その日お別れ会を子どもたちが企画をしてやってくれていたというところでした。担当していたのは小学校の1年生で、子どもたちが工夫をしてお別れ会をやりたいということで、飾りつけや当日のプログラムを考えたりして出し物もやっておりました。子どもたちと来られていた実習生も涙、涙のお別れということでしたけれども、ご本人も教員を目指されたいということをおっしゃっていましたので、私としても非常に心強く、ぜひ教員として採用され、県内、市内の教育に従事をしていただければうれしいなと思った次第でございます。

続きまして、11月10日、11日の関係、これ2点つながっておりますけれども、益田の横田がご出身だと伺っておりますけれども、早内豊さんという今ドイツにいらっしゃる方ですが、その方が吉川英治の「新平家物語」を30年間かけてドイツ語訳をして現地

で出版されていたということで、ドイツ語で全21巻ですけれども、こちらを10日にご寄贈いただいたということでございます。そのつながりとして、次の日に市民向けに講演会をしていただいたというところでございます。

続きまして、13日でございます。益田市未来の担い手育成コンソーシアムが開催されたところでございます。こちらでは、市内の多くの社会人、企業関係から産官学が集まって、子どもたちの育成をしていこうということで、関係者が集まった会議でございます。こちらにおいては、特に教育委員会の関係で各学校の取り組みや、島大や松江高専等との連携の状況、あと市内の高等学校の活動について報告があったところでございます。

続きまして、11月17日でございます。全国史跡整備市町村協議会臨時大会がございまして、こちら年1回、次年度に予定をしている文化財の史跡関係の整備に関する予算要求の要望を地元出身の国会議員に陳情で回るというものでございます。そちらに参加してまいりました。

続きまして、翌18日でございます。第30回全国山城サミット朝来大会に出席してまいりました。こちらに関係することは、また後ほど担当から報告があると思いますけれども、私の方でも簡単にご説明いたします。今年は山城としては竹田城、数年前にIT企業とCMで雲海の中に石垣が浮かんで見えるような日本のマチュピチュという名前で行われたりしていた、CM等々でよく流れていたお城を有している兵庫県の朝来市で開催したのですが、来年度は益田市で開催するということを決定いただきました。詳しいことは、後ほど担当が報告をするようにいたします。

続きまして、20日でございます。第41回益田市社会福祉大会が開催されました。

続きまして、21日でございます。こちら吉本哲男先生の叙勲の伝達を行ってまいりました。吉本先生は、昭和34年に中西小学校に着任をされたというのが初めてございまして、その後37年間にわたって市内、県内で先生として従事していただいたと。特に市内ですと、平成3年から豊川小学校の校長先生、平成5年から退職をされる平成8年3月末、益田小学校の校長先生をしていただいたというところでございます。まだまだお元気だということで、囲碁の教室等で指導をしていただいているということでございました。引き続き市内においていろいろと活動していただきたいというお願いと、長年にわたる先生のご功績に対しまして心から感謝を申し上げる次第でございます。

大体私の活動としては、以上でございます。

続きまして、前回から本日までの間でご寄附、ご寄贈をいただいた方の紹介をさせていただきます。

今回、2件ございます。1件は、市内の藤井様からご寄附をいただいております。また、先ほどご紹介をいたしました早内さんから市の図書館のほうに図書をご寄贈いただきました。非常に重要な、大事なご寄附、ご寄贈をいただいたということで、この場で紹介をしてお礼を申し上げたいと思います。

私からの報告は以上でございます。

何かご質問、コメント等ございましたらお願いいたします。

大庭委員

ドイツ語の本訳をされた「新平家物語」ということで、新聞の記事で拝見させていただきました。なかなかこれを市民の方に活用というのは非常に使用頻度がそんなに高くはないことが予想されるのですが、新聞にもありましたが、これからはやっぱりインバウンドで海外から来られるということで、特にドイツのほうからもこれからは今まで以上に益田に来られる方も増えてくるのではないかと思います。もっとそういった部分をしっかり活用して、益田にも実はドイツ語版の「新平家物語」がありますよとアピールして、この方のご功績に沿えるように工夫していただけたらなと思います。21巻も翻訳されたということで、すごいなとびっくりいたしました。

長嶺教育部長

21巻を我々の目の前に並べていただいて、その冊子の表紙には、彫刻をされる方が絵を描かれて、大変立派でした。ドイツ語で書かれているので、中身を見ても分かりませんので、どういった形で活用できるか考えていく必要があると感じています。ただ書架に置いていても誰もなかなか読めないというところがありまして、紹介するような形で置いてはあるのですが、なかなか我々は日本語のほうを見たくなくなってしまうので、難しいところだと思っております。これから観光交流課ともいろいろ協議しながら進めていきたいと思っております。

高市教育長

英語のほうはもう既に翻訳があるとお聞きしているのですが、これのドイツ語版ができたということは、大変意味のあることだと思っております。しかも、益田市出身の方がそれをしたということで、やっぱりその事実を広く市民の方に知っていただくとともに、海外の方が来られた時にはぜひ見ていただくような、そういうコマースシャルができればいいかなと思っております。

早内さんは、お話を伺っていると、有機化学の研究者だそうです。ドイツの世界的な製薬会社にお勤めをされていたという方が、こう

いう文学の翻訳をされたということでした。日本語をそのままドイツ語に直しても分からない言葉があるので、やはりそういったことも補足説明をしながら翻訳をされたと伺っております。あとは、早内さんはドイツにいらっしゃるので、美都の秦先生がドイツで研究をしていた時の研究室にも実際尋ねられていろいろ資料を益田市の秦先生の顕彰会等に提供をいただいて、それが資料館等に展示されています。そういったこともあり、益田市ともつながりを引き続き持っていただきたいと思います。ありがとうございます。

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

第3 議題

○議第16号 「益田市教育ビジョン」の計画期間延長について

高市教育長

本日は、1件の審議事項がございます。

議第16号「益田市教育ビジョン」の計画期間延長について事務局から説明をお願いいたします。

志田原課長

それでは、益田市教育ビジョンの計画期間の延長について説明をさせていただきます。

次の資料をご覧ください。

益田市教育ビジョンにつきましては、平成26年2月に策定しております。この計画は、26年度から10年間、令和5年度までというところで策定しておりました。基本目標としましては「めざす子ども像」というところを掲げておまして、この基本目標を実現するために様々な取り組みをしてきたというところです。

先ほど申しましたように、計画期間が令和5年度で終了するというところで、本来であれば次期計画を今年度策定するところですが、島根県の計画につきましては、しまね教育魅力化ビジョンというのがあるのですが、こちらについては令和6年度までの計画期間となっております。島根県におきましては、国の第4期教育振興計画、これが本年度の6月に閣議決定したのですが、それを参酌した次期計画というのを令和7年2月から3月に策定するという予定になっております。

一方、益田市の最上位計画であります第6次益田市総合振興計画の前期基本計画の計画期間というのは令和3年度から令和7年度ということがありまして、令和7年度中に令和8年度から5か年の後期基本計画を策定するという事になっております。こういった状況を踏まえまして、益田市の次期教育ビジョンにつきましては、教

育基本法第17条2項にも書いてありますように、国や県の計画内容を市の計画に反映させるということ、あと第6次益田市総合振興計画との整合性を図ることがありますので、そういったところから今回は現状の計画を延長させていただいて、次期計画につきましては令和8年度に策定したいと考えております。

次のページに、他市の状況を載せております。見ていただいたように、特に西部の市につきましては、令和7年度までというところが多くあります。そういったところも踏まえまして、益田市も令和8年度から次期計画にすれば、そういった足並みもそろえられるというような思いでおります。

説明は以上でございますが、計画期間延長につきましてご協議いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

高市教育長

ありがとうございます。

これは、現行の市の教育ビジョンを特に見直さずに2年間延長するということは、いわゆる市の教育行政に対して何か影響はあるのですか。

志田原課長

今日、手元に教育ビジョンというのは用意してないので申し訳ないのですが、教育ビジョンには重点目標というのを6個設定しております。この内容につきましては、特に今回見直すというような考えは持ってなくて、この内容に沿って現在取り組みをしております。2年延長したからといってこの取り組みに反するものでないと思っております。

高市教育長

計画というのは、社会的な情勢に合わせて、時代とそぐわないところは削るなりとか、新しい社会状況に合わせて追加すべきことがあれば追加するというようなものも考えられるわけですが、その点はどうですか。

志田原課長

特に、直近のところでいくと、やはり10年前につくった計画から変わっているのは、ICTの取り組みといったところもあると思います。その辺につきましては、ちょうど今の計画の7ページにありますように、そういったICTの活用というところも記しております。あと、先進的なところが目標のところにありますので、これらについても4年前と同じような状況であるというところで、同じように取り組んでいけると考えております。

原田委員

当初10年の計画にされていた理由は何だったのでしょうか。

志田原課長

10年前のことを私も詳しくは知らないのですが、当初においては多分初めての計画というところで、教育としても新しい計画というところがありましたので、10年間という長いスパンをもって計画をつくったと思っております。

原田委員 今回の延長に至った理由っていうのは、そのときは加味されていなかったということですか。

志田原課長 今回の延長につきましては、基本的に10年たった、先ほど言いましたように、今年度策定しないといけないというところがありました。本来であればこれから同じように10年間の計画を立てるかという話もあるのですが、教育の計画と併せて教育の大綱というところを他市においてはつくっておりまして、大体この教育の大綱というのが首長や教育長が代わる4年から5年の計画にするのが適正というような国の指導もありますので、今回は5年間の計画にしようと考えております。

高市教育長 ありがとうございました。

 そうしましたら、本件、採決に移りたいと思います。それでは、この件について承認いただけます方は挙手をお願いします。

教育委員 =全員挙手=

高市教育長 挙手全員ということで、承認されました。つきましては、事務局におかれましては必要な手続等を進めていただくようお願いいたします。

高市教育長 それでは、以上をもちまして定例会を終わります。

 次回は12月20日に定例教育委員会を開催いたします。よろしくようお願いいたします。それでは以上で定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

 =終了時間 16時30分=